

令和3年4月12日

令和2年度 学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会
議長 野村 昌広

学校関係者評価委員会は、令和2年度 自己点検・自己評価報告書に基づき、学校関係者による評価会議を実施しましたので、以下のとおり報告します。

1. 開催日時

令和3年4月5日（月）

2. 開催場所

名古屋理容美容専門学校 2F

3. 学校関係者（評価者）

野村 昌広	株式会社ふいるびい	代表取締役
山田 高敬	ドレスグループ	代表取締役
新家 節之	経営コンサルタント	代表取締役
古居 利雄	株式会社ハグエベック	代表取締役

4. 報告者

事務長	川口 清成
教務部長	大島 久美
美容科主任	糟谷 里子

5. 会次第

- 1) 開会宣言
- 2) 議長 挨拶
- 3) 資料の確認
- 4) 委員の紹介
- 5) 自己評価結果報告
- 6) 評価結果・意見交換
- 7) 閉会宣言

6. 評価会議の概要

本校は、学校の質保証と向上を目指して「学校自己評価」を行っている。具体的には、教職員等による「自己評価」と、「学生による学校満足度の調査」・「授業アンケートの集計」を行い、学校が抱える課題の明確化と改善を図ってきた。

本校では、この「自己評価」に加えて、組織的で継続的な教育活動の改善とキャリア教育の充実を一層図るため、外部の有識者に参加頂いた「学校関係者による評価会議」を開催して、指導・助言や提言を頂いている。

当日は、学校からの報告、評価会議の順に進めた。会議では、学校の特徴的な取組などを各担当から説明した後、評価者から意見、改善すべき点、提言等を伺った。

＜学校関係者による意見、提言等＞

【評価基準】 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

(1) 教育理念・目標 評価結果：4

- ・学生便覧を入学者説明会時に出席者に対して配布、説明するだけでなく、欠席者に対しても個別に対応するところが評価できる。
- ・教職員全員がコロナ禍の新生活様式の社会動向に目を向け、関心を持つことが必要。
- ・理・美容師国家資格取得に必要な技術を基本とするが、トレンドの変化を意識することが大切。

(2) 学校運営 評価結果：4

- ・事業計画を基に学校運営を行っている。
- ・カリキュラムは全てシラバスに沿って到達目標は定め実施している。
- ・効率的に学校運営するにはその分担すべき職務、行使すべき権限を明確にすることで日常業務を円滑に遂行し、また、非日常的な業務が発生したときも迅速・的確に対処できる。
- ・組織については、変化した時に弱まらない組織力をつけることが今後の課題で、会議・研修の議事録をファイリングし情報共有する。

（３）教育活動

評価結果：４

- ・コロナ禍のなか臨時休校や行事の中止、縮小があり、不安な状態ではあったが、学生が前向きにとらえることができるよう指導できたこと、それは国家試験の合格率にも反映できたことはよかった。
- ・成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準を明確にしている。
- ・コロナ禍で新しい生活様式となり、オンライン授業、ハイブリッド授業の必要性があり、同時に情報漏洩、個人情報の管理を徹底する。
- ・クラス運営や教育技術などの能力向上の取り組みは、各個人に任せられている部分が多く、学校全体としての取り組みが個人能力で差がついている。

（４）学修成果

評価結果：４

- ・国家試験対策授業の強化を図り、合格率の向上が得られた。
- ・卒業後のことを考えての心の教育については、就職指導だけではなく、キャリアデザインなどの授業や行事を通して、心身共に成長できるよう強化していく。
- ・卒業生の動向を把握、分析を、教育活動の改善・評価活用につなげる。

（５）学生支援

評価結果：４

- ・コロナ禍でも衛生分野の学校として健康優先対応が学生だけでなく保護者にも、速やかに周知できている。
- ・就職率１００％と就職指導の流れ（学校生活での面談の体系化）に従い、就職担当と各担任が連携して支援している。
- ・クラス担任が適時、管理・支援しているが、必要であれば学校全体で対応するよう整備している。

（６）教育環境

評価結果：４

- ・新型コロナウイルス感染症対策としてサーキュレーターを各教室に配備、換気の徹底をする。
- ・学校にＡＥＤの設置をした。
- ・コロナ禍でオンライン授業、ハイブリッド型授業の教育の質の確保が必要となる。

(7) 学生の受入れ募集 評価結果：4

- ・ 学生募集活動は愛知県専修学校各種学校連合会の規定に沿って適正に行っている。
- ・ 新型コロナウイルス感染症を踏まえ、オープンキャンパスは来場型だけでなく、オンライン型の充実も必要となる。
- ・ 学生募集について既存の考え方に偏らず、費用対効果を見直すこと。

(8) 財務 評価結果：4

- ・ 学校教育法の定める財務情報をホームページで公開している。
- ・ 財務基盤安定上の要件である学生確保が厳しい状況下にあるが、概ね安定している。
- ・ 予算内を徹底し、経費の削減に努め財政基盤の安定に取り組む。

(9) 法令等の遵守 評価結果：4

- ・ 専修学校設置基準や関係法令を遵守し運営をしている。また会議や掲示物等を通じて、教職員の法令遵守に対する啓蒙を継続的に図っている。
- ・ I T 化が進むなか、情報漏洩の管理・対策をより厳重にする。

(10) 社会貢献・地域貢献 評価結果：3

- ・ 地域へ開かれた学校として積極的に情報公開、施設貸し出しなどを実施する。
- ・ 新型コロナウイルス感染症が心配されるため、既存の形式にとらわれず地域貢献の教育活動を行う。

7. 学校関係者による総評

令和2年度の名古屋理容美容専門学校の自己点検・自己評価報告を拝見し、各項目の詳細を委員にて点検いたしました。

当年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休校等による授業・学校生活の不安を解消するため、健康優先の学校運営・学内対応を迅速に情報発信するなど、学生へのサポートを第一に担任をはじめ教職員が一丸となり取り組んだ一年だったと思います。

衛生分野の専門学校として、新型コロナウイルス感染症が誰にでも発症し、感染させてしまう危険性を正確に理解し、感染予防の徹底をお願いします。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の新しい生活様式により、既存の形にとらわれない形式が始まっております。

このような状況下でも、名古屋理容美容専門学校は各関連業界およびPTA、後援会、卒業生など多くの関係者と連携を取り、様々な取組みを実施し、理・美容業界を牽引する人材を輩出してほしいと期待しております。